



コミュニティだより



発行 登米市吉田公民館

TEL:0220-55-2124

(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) FAX:0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会



わくわく音楽祭(9月30日)

米山地区コミュニティ連絡協議会主催で、「わくわく音楽祭」を開催。

第1部では、佐沼警察署吉田駐在所の相馬拓氏を講師に迎え、特殊詐欺に関するご講話をいただきました。実際の手口や被害事例を交えながら、注意すべきポイントや対策について分かりやすく説明していただき、参加者の皆様は真剣な表情で耳を傾けていました。特殊詐欺が増加する中、地域全体で防犯意識を高める貴重な機会となりました。

第2部は、宮城県警察音楽隊とカラーガード隊による演奏と演技を披露していただきました。「涙そうそう」や「川の流れるように」などの名曲に加え、「昭和歌謡メドレー」や「おジャ魔女カーニバル!!」など、世代を超えて楽しめるプログラムが展開され、会場は大きな拍手と笑顔に包まれました。アンコールでは「およげ!たいやきくん in Swing」「千本桜」が演奏され、華やかなフィナーレを迎えました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



吉田先人大学 第4回学習会(10月16日)

宮城県警察佐沼警察署、宮城県警察交通企画課、吉田駐在所の相馬拓氏を講師に迎え、「交通安全教室」を開催しました。

前半は体験型のコーナーが設けられ、参加者は自由に各ブースを回りながら交通安全の重要性を体感しました。俊敏性を測る「クイックキャッチ」や「クイックステップ」、夜間の視野を疑似体験できる「夜間帯視野体験」、さらには「酒酔い体験ゴーグル」を装着しての歩行やキャッチボールなど、楽しみながら学べる内容が盛りだくさんでした。

後半は講話の時間となり、まず佐沼警察署の職員より、高齢ドライバーの運転に関する現状や注意点について、資料を用いた丁寧な説明がありました。続いて、宮城県警察交通企画課の職員による腹話術を交えた講話では、反射材の重要性について分かりやすく伝えていただきました。

今回の交通安全教室を通じて、参加者一人ひとりが交通安全の大切さを改めて実感する機会となりました。これからも地域の皆様と協力しながら、安心・安全な吉田地区を築いていきたいと感じました。



裏面もご覧ください



第25回吉田地区コミュニティ運動会（10月19日）

10月19日（日）、吉田運動場にて「第25回 吉田地区コミュニティ運動会」を開催しました。

当日はやや肌寒い気候でしたが、約250人の参加者が集まり、笑顔と声援に包まれた一日となりました。

今年は新たに「借り人競争」と「恐竜レース」が加わり、大いに盛り上がりました。

借り人競争では、「坊主、スキンヘッドの男性」というお題を引いた小学生が、行政区のテントを回って“該当者”を一生懸命探す微笑ましい場面も見られました。

また、恐竜レースでは、迫力満点のティラノサウルスたちが登場。ゴールに並んだ賞品をまるで卵のように大事に抱えてテントへ戻る姿に、観客席からは「かわいいー！」と歓声が上がっていました。

会の途中には小野寺五典衆議院議員も駆けつけてくださり、温かいご祝辞をいただきました。

優勝は中新田行政区(19点)、準優勝は同点で新田行政区(16点)、森腰行政区(16点)となりました。

参加された皆さん、運営にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

